

平成20年公共事業環境配慮システム評価状況について

1 実施配慮率と平均選択事項数について

○適用範囲

【平成20年目標実施配慮率】
全事業種一律 80%

「計画」・「設計」予定価格 5百万円以上
「施工」予定価格 1億円以上

【平成20年 実施状況】

・平成20年の実施配慮率は99%。全ての事業種で目標達成率80%をクリア
・対象件数：96件（前年172件 45%減）

NO	事業種名	選択事項数の状況				実施配慮率	
		選択事項数	実施事項数	平均選択事項数	平均選択事項数	件数	実施配慮率
		(b)	(c)	(b)÷(a)	H19からH20増減 増↗減↘		
1	道路の整備事業(街路)	27	27	5.4	↘	5	100%
		116	114	8.9		13	98%
2	道路の整備事業(道路改良)	62	60	6.2	↗	10	97%
		162	153	5.6		29	94%
3	道路の整備事業(道路維持)	58	56	3.9	↗	15	97%
		73	71	3.3		22	97%
4	道路の整備事業(農道)					0	
		14	14	14.0		1	100%
5	道路の整備事業(林道)					0	
						0	-
6	下水道の整備事業	49	49	4.1	↘	12	100%
		108	104	7.2		15	96%
7	河川の整備事業	26	26	6.5	↘	4	100%
		155	153	8.6		18	99%
8	海岸の整備事業					0	
		9	9	3.0		3	100%
9	砂防施設の整備事業	15	15	3.8	↘	4	100%
		39	38	4.3		9	97%
10	斜面の整備事業					0	
		8	8	4.0		2	100%
11	港湾の整備事業	5	5	2.5	↗	2	100%
		2	2	2.0		1	100%
12	建築物、工作物の整備事業	171	168	12.2	↗	14	98%
		131	130	11.9		11	99%
13	廃棄物処理施設の整備事業	12	12	12.0	↗	1	100%
						0	-
14	農業農村の整備事業(農道を除く)	175	174	8.3	↗	21	99%
		229	227	7.2		32	99%
15	漁港、漁村の整備事業	37	37	12.3	↗	3	100%
		44	43	11.0		4	98%
16	治山事業	15	15	7.5	↘	2	100%
		43	42	8.6		5	98%
17	空港の整備事業					0	
						0	-
18	公園、緑地の整備事業					0	
		5	5	2.5		2	100%
19	工業団地の整備事業	15	15	7.5	↘	2	100%
		20	20	10.0		2	100%
20	発電所の整備事業	4	4	4.0		0	
						1	100%
21	工業用水道の整備事業	3	3	3.0	↗	1	100%
		5	5	2.5		2	100%
全事業種トータル		670	662	6.9	増↗8、減↘6	96	99%
		1,167	1142	6.8		172	98%

※上段数値は、平成20年1月1日～12月31日に完了した事業のデータ。下段数値は、平成19年1月1日～12月31日に完了した事業のデータを基に作成したものです。

※H19、H20の実施配慮率は、それぞれの(実施事項数の計)÷(選択事項数の計)により、算出しています。

2 平成20年度秋田県公共事業における環境配慮優良事例発表会について

日時：平成21年1月29日(木) 午後1時～
場所：県庁第2庁舎 8階 大会議室
参集：県職員、国・市町村・建設団体 計158名参加
内容：①公共事業環境配慮システムの説明
②特別講演
③優良事例の発表(3事例)
④副知事による講評



会場状況



西村副知事講評

特別講演

『生態系の保全技術と地域活性化－県内外事例について』

講師 端 憲二教授 (秋田県立大学フィールド教育研究センター)



内容
・魚類と水田の生態学的関係
・水田地帯の魚類生態系を保全する技術－課題と解決策
・保全の効用－地域活性化へ

優良事例発表3事例



秋田地域振興局建設部企画道路課 主幹兼班長 鏡藤広
地方道路交付金事業 主要地方道男鹿半島線

(配慮のポイント)
・設計施工一括発注方式・契約締結後VE提案による橋梁工
・現況地形掘削工の最小限化
・法面「無播種施工」による緑化



仙北地域振興局農林部森づくり推進課 副主幹 藤田昇
予防治山事業 大台野地区

(配慮のポイント)
・間伐材・鋼製型枠・砕石の融合したハイブリッド床固工
・現地発生材・地域産木材の積極的利用
・木材利用による環境負荷低減



仙北地域振興局農林部農村整備第二課 主任 嶋津光人
経営体育成基盤整備事業 仙北西地区

(配慮のポイント)
・大型フリュームを利用し生態系に配慮した水路工
・多様な水深・流速を持たせ生息生育空間の確保

3 H21取組方向について

- 1 目標配慮率は、80%とする。
- 2 工事条件にもよるが、1件当たりの平均選択事項数は、32事項中の8事項以上を目安に目標設定する。
- 3 過去の事業種毎の平均選択事項数を踏まえ、さらに質の高い取組となるよう目標を設定し、もう一步踏み込んで配慮の内容の充実を図る。
- 4 環境配慮の取組結果については、それぞれの部局や課で情報交換や意見交換を行い、取組の結果は他の事業にフィードバックする。